

安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略



安曇野

平成27年10月
長野県安曇野市

27.10.20.

1 総合戦略基本方針	
(1) 基本的な考え方	4
(2) 計画の構成と期間	5
2 総合戦略の重点	
(1) 総合戦略の重点	7
3 基本目標と基本的方向	
(1) 安曇野市が目指すべき4つの基本目標	9
基本目標1 新たな雇用を生み出す	
施策1 次代へつなぐ農林業の振興	11
施策2 活力ある商工業の振興	13
施策3 観光産業の振興	15
施策4 地域資源を活用した産業モデルの支援	16
施策5 安曇野インター周辺の開発	17
施策6 再生可能エネルギーを活用した雇用機会の創出	17
基本目標2 若者や女性が活躍できるまちをつくる	
施策1 市外進学者のUターン率の向上	19
施策2 子育て世代の移住・定住の促進	19
施策3 若者・女性が活躍する社会の実現	21
施策4 特色ある学校教育の推進	23
施策5 信州型自然保育の推進	24
基本目標3 安心して出産し子育てできるまちをつくる	
施策1 妊娠・出産・育児の切れ目のない支援	26
施策2 子育て世帯の負担軽減	26
施策3 児童・生徒へのきめ細かな支援	28
施策4 安心して子育てできる環境づくり	29
基本目標4 いきいきと暮らせるまちをつくる	
施策1 健康長寿のまちづくり	32
施策2 安心して生活できるまちの実現	34
施策3 利便性の高いまちの実現	35
施策4 サービスレベルを維持する行政経営の実現	39

1 総合戦略基本方針

(1)基本的な考え方

社会問題となっている人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の一極集中を是正し、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目的に、国は「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン及び総合戦略」を決定しました。これはまさに、本市が地域の活力を維持するために目指す方向と合致するものです。

「安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」という。）は、上位計画である「第1次安曇野市総合計画」を基本とし、安曇野市人口ビジョンで掲げた「2040年時点で人口83,000人」を目指すために4つの基本目標を掲げました。基本目標ごとに具体的な施策や事業をまとめるとともに、数値目標を示して総合戦略期間中（H27~H31）の目標達成を目指します。

総合戦略策定にあたり実施した市民アンケート等から本市の課題が見えてきました。

- ◆将来本市に住み働きたいと希望する若者が多いものの、市内の企業をよく知らないという実態が分かりました。若い世代が市内の企業を知るきっかけづくりが今後の課題です。
- ◆出産後に「復職」「再就職」したいと希望する女性が9割近くいることが分かりました。このような女性が活躍できる社会を作り上げることが今後の課題です。
- ◆生活上一番不満に感じていることは「公共交通が不便であること」が分かりました。公共インフラ整備の要望に広域的に取り組むことが今後の課題です。

多様な課題に対して5年間で取り組める施策を総合戦略に盛り込みこみました。

総合戦略を推進する上で、市民の皆さまをはじめ産業界や金融機関等さまざまな立場の皆さまにご協力いただき取り組む必要があります。関係機関のご理解とご協力をお願いいたします。

(2)計画の構成と期間

総合戦略は、「第1次安曇野市総合計画 基本構想 後期基本計画」及び「安曇野市人口ビジョン」等を踏まえ、「2040（H52）年度目標人口83,000人」の実現に向け、重要となる基本目標の施策をとりまとめたもので、計画期間は5年（H27年度～H31年度）です。

基本目標ごとに、5年後（H31年度）の実現すべき成果に関する数値目標を設定し、基本目標を構成する各施策については、その効果を客観的に検証できる指標（重要業績評価指標 [KPI]）を設定しています。

計画期間中の進捗管理を毎年度行うものとし、評価・検証結果に応じて総合戦略の見直しを行います。

総合戦略の構成と期間

目 標			
2040（H52）年度 人口83,000人の田園産業都市 安曇野 の実現			
基本目標1	基本目標2	基本目標3	基本目標4
新たな雇用を 生みだす	若者や女性が 活躍できるまち をつくる	安心して出産し 子育てできる まちをつくる	いきいきと暮ら せるまちをつくる
総合戦略計画期間 平成27年度～平成31年度			

2 総合戦略の重点

本市の強みは、「豊かな自然の魅力」と「安曇野・AZUMINOのネームバリュー」です。これらを最大限活用することで「しごと」と「ひと」を呼び込み、人口減少を克服して地域の活性化を目指します。

重点的に取り組む施策

- 1) 農産物の販路を拡大するため、「農産物の海外輸出」に取り組みます。
- 2) 観光客の誘致を図るため、「外国人旅行者への対応」や「山岳観光」に取り組みます。
- 3) 新たな雇用を生み出すため、「安曇野インターチェンジ周辺の開発」に取り組みます。
- 4) 若い世代のUIターンを促進するため、「奨学金制度の創設」に取り組みます。
- 5) 魅力ある子育て環境を実現するため、「信州型自然保育認定制度」に取り組みます。
- 6) コンパクトで利便性の高いまちを目指すため、「駅を中心としたまちづくり」に取り組みます。
- 7) 「安曇野ブランド」の積極的な情報発信に取り組みます。

広域的な取り組みが必要なもの

今回の総合戦略策定に調整ができなかったものの、本市の特長を活かすとともに広域的な取り組みが必要なものがあります。これらは、今後総合戦略の見直しにあたり取り組みを検討していきます。

- 1) 外国人旅行者の利便性を高め、地域のグローバル化促進のため、「松本空港国際化」
- 2) 首都圏との移動時間短縮を図るため、「新幹線上田駅との交通アクセスの改善」
- 3) 日本海沿岸との広域的な交流・連携を図るため、「松本糸魚川高規格道路の整備」

3 基本目標と基本的方向

(1)安曇野市が目指すべき4つの基本目標

人口ビジョンからみえる安曇野市の現状と課題

<現状と課題>

進学・就職等を契機に10歳代後半～20歳代の市外への転出超過が進んでいます。

<検討すべき対応策>

20代の人口層を回復させるためには、本市に戻りたいと希望する若い世代の要望がかなうような「雇用の場・就労環境の確保」が必要です。

<現状と課題>

若い女性を中心に20歳代～30歳代の市外への流出が目立ちます。一方で、30歳代～40歳代にかけて、0～4歳で転入超過となっています。

<検討すべき対応策>

若者の流出を抑制するために、20歳代～30歳代の世代を中心に定住を促すような魅力あるまちづくりが必要です。社会流入の増加にも取り組む必要があり、都市部を中心に子育て世帯の移住・定住のアプローチを展開していく必要があります。

<現状と課題>

出生数よりも死亡数が上回っていることから、近年自然動態はマイナスです。

<検討すべき対応策>

出生数が死亡数を上回することは困難であるものの、人口の一定数維持のためには、若い世代の定住と出生率の向上が必要不可欠です。若い世代が安心して結婚・出産・子育てができるようなまちづくりを進めていく必要があります。

<現状と課題>

すでに将来子どもを産み育てる女性数が減少しているため、各種施策を実施したとしても人口減少に歯止めがかかるまで相当な期間を要することが想定されます。

<検討すべき対応策>

少子高齢化、人口減少社会が続く中、若者から高齢者まで市民全体がいきいきと安心して暮らせるまちづくりをしていく必要があります。

基本目標1

新たな雇用を
生み出す

基本目標2

若者や女性が活躍で
きるまちをつくる

基本目標3

安心して出産し子育
てできるまちをつくる

基本目標4

いきいきと暮らせる
まちをつくる

目標

2040(H52)年度人口83,000人の田園産業都市 安曇野 の実現

数値目標	基準値	目標値
新規就農者数（年間）	10人	15人
市内企業の就業者数	10,191人	11,000人

基本的方向

- ・本市のブランド農産物の確立と将来性のある新たな農産物の導入や加工品の開発により、付加価値の高い農業の実現を目指します。農産物の販路を海外に求め、グローバルに展開する農業を目指します。農業を若者世代に魅力ある産業として育てることで、新規就農を希望する若者の目を本市に向けることを目指します。新規就農者の農業経営が軌道に乗るには時間が必要なので、経営的な支援を実施します。
- ・市民農園/クラインガルテン利用者や友好都市の消費者、アンテナショップ利用者など市外の農産物消費者との交流（グリーンツーリズム・農家民宿）を、消費者ニーズにあった農産物・農産加工品の開発に活かすことを目指します。
- ・ICT（情報通信技術）を活用することで、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方（テレワーク）ができたり、本市にいながら都市部と同様に開発から営業までの企業活動ができる社会になっています。ICT環境を整備することで「安曇野のネームバリュー」を求める企業や、クリエイティブな分野の小規模事業者（設計/デザイン/工房等）の誘致を目指します。
- ・都市部のキャリア人材の活用やインターンシップにより企業の経営革新を目指します。
- ・急増している外国人旅行者のニーズに対応するため、案内表示の改良やWi-Fi環境の整備を図ります。「山の日」の制定に合わせて本市の強みである山岳観光の振興を図ります。鉄道（篠ノ井線・大糸線）利用者に本市をアピールするため、駅名に「安曇野」をつけることを検討します。平成27年度に開始した「安曇野ハーフマラソン」の来訪者を本市の観光に結びつけ、リピーターとしての来訪に結びつけることを目指します。
- ・本市の玄関口である「安曇野インターチェンジ」周辺を開発して、新たな雇用を生み出すことを目指します。

施策 1 次代へつなぐ農林業の振興

具体施策(1) ブランド力の強化と都市農村交流の取り組み	重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	目標値(H31)
		農家民泊受入生徒数		—
<p>農業経営の方向性に応じた経営基盤の見直しを図ります。また、農産物の質と量を両立させ、新技術や地域イメージを活かしてブランド力を強化します。さらに、農産物直売所やインターネットを利用した販路の拡大、農業体験・観光との連携などによる6次産業化を推進します。</p>				
具体的な事業	担当	具体的な事業	担当	
市振興農作物産地化事業	農政課	(新規) 首都圏アンテナショップを通じた都市農村交流	農政課	
農産物等販路拡大事業 (首都圏における農産物PR)	農政課	(新規) 果樹栽培支援事業	農政課	
農家民泊事業	農政課	(新規) 玉ねぎ機械化体系支援事業	農政課	
市民農園推進事業	農政課	農産物加工品開発製造及び販売促進支援事業	農政課	

具体施策(2) 農産物輸出に向けた取り組み	重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	目標値(H31)
		海外輸出農産品		0品目
<p>本市の高品質農産物の海外輸出に向けた取り組みを行います。</p>				
具体的な事業	担当	具体的な事業	担当	
(新規) 海外におけるシティーセールスと販路開拓事業 (農産物輸出)	農政課			

施策 1 次代へつなぐ農林業の振興

具体施策(3) 農業後継者の確保・育成	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
	親元就農者を含む年間の新規就農者数	15人	15人

農業生産の核となる組織や体制を確立し、農業後継者を確保・育成する取り組みを進めます。

具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
担い手育成支援事業（地域農業の担い手充実）	農政課	親元就農支援金交付事業	農政課
農業後継者対策事業 （次代へつなぐ人材育成支援）	農政課	荒廃農地解消就農者支援金交付事業	農政課

具体施策(4) 森林の公益的機能の維持・増進と有害鳥獣対策	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
	林業従事者数	53人	57人

森林の公益的機能を発揮するために、健全な森林整備を推進します。そのため、保安林、保安施設による森林の保全や松くい虫などの森林病虫害による森林機能の低下を防ぐための有効な対策に取り組み、適正な森林管理に努めます。また、森林整備に必要な林道、作業道などの路網整備や林業従事者など担い手の確保・育成に努めます。また、野生鳥獣の貴重な生息地域であることからその保全を図るとともに、農作物などへの被害が顕著な有害鳥獣に対しては、個体数の調整など農作物被害防止に努めます。

具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
(新規) 新規林業従事者支援事業	耕地林務課		

施策 2 活力ある商工業の振興

具体施策(1) 商業の振興		重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
		新規起業数	5人	7人
<p>個々の商店が魅力ある小売店としての経営を行うことで商業全体の賑わいをつくりだすよう努めます。また、空き店舗の活用を促進し、商店街の空洞化を防ぐような助成制度を拡充します。併せて、商工会と連携してこまめな経営指導が図れるよう経営的支援を行いつつ、販路拡大化や設備投資資金調達などの支援制度を拡充します。</p>				
具体的な事業	担当	具体的な事業	担当	
商工会支援	商工労政課	販路拡大支援事業(松本山雅ホームゲーム会場出展)	商工労政課	
創業支援セミナー開催事業	商工労政課	空き店舗活用促進事業	商工労政課	

具体施策(2) 工業の振興		重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H25)	目標値(H31)
		市内企業の就業者数	10,191人	11,000人
<p>企業ニーズを踏まえ、企業間の技術支援や連携の図れる産業団地の形成、生産基盤の整備を進めます。また、企業立地の促進を図るとともに、企業留置の観点からも環境整備などの支援を行い、助成、融資制度を充実・拡充します。</p>				
具体的な事業	担当	具体的な事業	担当	
新製品・新技術開発支援事業	商工労政課	新産業団地検討庁内PTの設置、協議	商工労政課	
地域資源活用型連携推進事業	商工労政課	空き工場等活用促進事業	商工労政課	
技術・製品等展示会出展事業	商工労政課	工場等設置、工業用地取得事業	商工労政課	
情報ポータルサイト構築	商工労政課	(新規) 地域再生計画による本社機能誘致	商工労政課	
産業連携推進事業	商工労政課	(新規) インキュベーション(起業のための研修・育成)施設の設置・運営	商工労政課	
安曇野市工業振興連携推進協議会の設置・協議	商工労政課			

施策 2 活力ある商工業の振興

具体施策(3) 人材育成の推進	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
	建設業資格取得者数	—	30人
	創業支援・人材育成セミナー受講者数	34人	70人

安曇野市商工会、安曇野工業会と連携し、ものづくりの精神を育み、技術と技能を継承・高度化できる人材の確保・育成を支援します。また、市内建設業に係る技術者の育成を図ることで、建設業の活力や雇用維持・拡大に繋がります。

具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
(新規) 建設業技術者資格取得費補助金交付事業	監理課	創業支援セミナー開催事業	商工労政課
製造業等人材育成事業	商工労政課		

具体施策(4) 小規模企業の誘致とクリエイターのまちPR	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
	移転事業者数(累計)	—	3社

本市には工芸作家らの工房が進出しており、創造的な仕事に適しているとみられます。ICT環境の進歩により、都市部と同等の情報通信環境の確保が可能になったため、「クリエイターのまち安曇野」として売り出します。

具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
(新規) クリエイター等の事業者誘致事業	商工労政課		

施策 3 観光産業の振興

具体施策(1) 観光情報の発信

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
「信州安曇野の旅」ページビュー	247万PV	280万PV

安曇野市観光情報センターを拠点に、ホームページやSNSなどインターネットを活用した情報発信や、ポスター、チラシ等による広報活動など、あらゆる機会を捉えて安曇野市の観光情報を発信し、観光誘客に繋がります。また、訪日外国人旅行者を誘客するための活動を充実します。

具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
観光プロモーション事業	観光交流促進課	外国人誘客事業	観光交流促進課
ロケ支援事業	観光交流促進課		

具体施策(2) 新たな観光戦略の実践

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
観光経済波及効果	188億円	214億円

安曇野市観光振興ビジョン「安曇野暮らしツーリズム」の実現に向けて、安曇野市の景観、歴史、文化、暮らし等の地域資源を活かした新たな旅行素材の掘り起こしや、既存素材の磨きあげを行い、交流人口の拡大を図ります。また、安曇野の朝の魅力を旅行者にも五感で感じられるよう、視覚・味覚など多角的に提案します。

具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
「朝が好きになる街」ブランドづくり事業	観光交流促進課	交流人口拡大事業	観光交流促進課
宿泊助成事業	観光交流促進課	(新規) 農業観光ツーリズム特区の検討	観光交流促進課
山岳観光振興事業	観光交流促進課	天蚕振興事業	観光交流促進課
(新規) 宿泊バスツアー助成	観光交流促進課		

施策 3 観光産業の振興

具体施策(3) 国内・国外旅行者受入体制の整備	重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H25)	目標値(H31)
		外国人宿泊者数		6,000人

来訪者の満足度を向上させるため、安曇野への基幹交通網からの二次交通の整備等、受け入れ体制を整備します。また、増加している外国人旅行者に的確な観光情報を提供するため、Wi-Fiの整備を図るとともに、観光案内アプリを開発します。

具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
受入体制整備事業(宿泊・二次交通等)	観光交流促進課	(新規) スマートフォンのアプリによる観光情報発信	観光交流促進課
外国人向けWi-Fi環境の整備	観光交流促進課	外国人誘客事業	観光交流促進課

施策 4 地域資源を活用した産業モデルの支援

具体施策(1) 地域資源を活用した産業モデルの支援	重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	目標値(H31)
		異業種連携による起業数 (商品数) (累計)		1件

地域内産業に稼ぐ力を生み出すため、最大限に地域資源を活用しながら、多様な地域連携支援を推進し、高付加価値の商品の開発支援や商品等の販路開拓支援を行います。

具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
産業支援コーディネーター事業	商工労政課	地域産品販路拡大支援事業	商工労政課
地域資源活用型連携推進事業	商工労政課	(新規) 多角的な販路開拓支援事業	商工労政課
(新規) 首都圏市場ニーズ調査事業	商工労政課	農工商等連携型産業推進協議会の設置、協議	商工労政課
産業連携推進事業	商工労政課		

基本目標 1 新たな雇用を生み出す

施策 5 安曇野インター周辺の開発

具体施策(1) 安曇野インター周辺地域の開発に向けた土地利用の方向性、開発手法の検討	重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	目標値(H31)
		本市における安曇野インター周辺地域の位置付け		優良農地としての位置付け
安曇野インター周辺地域の内農地転用許可基準に該当する範囲について、本市の活性化、魅力向上のための重要地域として位置付け、土地利用の方向性、開発手法を検討します。				
具体的な事業	担当	具体的な事業	担当	
安曇野インター周辺土地利用方向性の検討	都市計画課	新産業団地検討庁内PTの設置、協議	商工労政課	
安曇野インター周辺地域開発手法の検討	都市計画課	安曇野市工業振興連携推進協議会の設置、協議	商工労政課	

具体施策(2) 安曇野インター周辺開発	重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	目標値(H31)
		開発に係る市民の合意形成		なし
安曇野インター周辺地域を民間資本により開発することで新たな雇用を生み出すことを目指します。				
具体的な事業	担当	具体的な事業	担当	
(新規) 安曇野インター周辺開発事業	関係部局			

施策 6 再生可能エネルギーを活用した雇用機会の創出

具体施策(1) 再生可能エネルギーを活用した雇用機会の創出	重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	目標値(H31)
		再生可能エネルギー活用事業所		なし
再生可能エネルギーを活用して新たな雇用を創出すると同時に本市のエネルギー自給率を高めることを目指します。				
具体的な事業	担当	具体的な事業	担当	
(新規) 再生可能エネルギー活用事業の研究及び推進	政策経営課 関係部局			

数値目標	基準値	目標値
小学生以下の子どもがいる移住者世帯数（年間）	—	10世帯
若者・女性の起業者数（累計）	—	5人

基本的方向

- ・結婚を目的とする男女の出会いの場をつくり、若い世代の男女の定住促進を目指します。
- ・新たな奨学金制度を創設することで、進学等を機に市外に流出した若い世代のUターンやI・Jターンを増加させ、人口定着を図ります。
- ・本市に住もうとする若い世代の住宅取得を応援し、子育て世代の移住・定住を目指します。
- ・移住希望者からの人気が高い「安曇野」の知名度を活かし、民間の知恵や経験を活かした移住・定住促進のための施策を講じます。日本版高齢者移住構想(CCRC)は、効果とともにさまざまな課題が懸念されることから、その課題について慎重に検討します。
- ・若者及び女性の起業を支援し、「起業するなら安曇野市」を目指します。
- ・安曇野の自然・歴史・文化・産業等を学ぶことができる環境を整備し、将来の安曇野市を担う若い世代が、今以上に郷土に誇りと愛着をもてるよう取り組みます。また、信州型自然保育の実施により、子育て世代の移住希望者に本市を選択してもらおうことを目指します。

施策 1 市外進学者のUターン率の向上

具体施策(1) 奨学金制度の創設		重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
		奨学金受給者で市内Uターン者数	—	10人
大学生等対象の奨学金制度を創設し、進学等を機に市外に流出した若い世代のU・I・Jターンを増加させ、地元への人口定着を図ります。				
具体的な事業		担当	具体的な事業	担当
(新規)	奨学金制度事業	学校教育課		

施策 2 子育て世代の移住・定住の促進

具体施策(1) 移住定住促進体制の構築と情報発信		重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
		移住希望者の受け皿組織による移住相談受付数	—	120件
行政及び民間が連携・協力しながら本市への移住・定住促進を図るため、民間の知恵や経験を生かした移住・定住促進のための体制を整備します。また、世代やライフスタイル等に応じた本市の魅力情報を発信するとともに、首都圏等で開催する移住フェアに積極的に参加します。				
具体的な事業		担当	具体的な事業	担当
	移住相談窓口の設置	政策経営課	(新規) (仮称) 安曇野暮らし支援協議会の設立	政策経営課
	移住促進パンフレットの作成	政策経営課	(新規) 協議会移住定住促進総合サイトの開設	政策経営課
	安曇野暮らしセミナー及び体験ツアーの開催	政策経営課	(新規) 各種イベントでのペットボトル水道水の配布	上水道課

施策2 子育て世代の移住・定住の促進

具体施策(2) 移住者住宅支援		重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
		移住・定住希望者向けの空き家情報物件数	—	50件
<p>移住・定住希望者のニーズに応じた住宅情報を提供するとともに、新築住宅への助成だけでなく、空き家の活用や、おためし住宅など、さまざまな選択肢を用意することで、移住者の希望に応えます。</p>				
具体的な事業	担当	具体的な事業	担当	
(新規) 県等が開設する空き家バンクへの情報掲載	政策経営課	(新規) 移住者向けのおためし住宅の設置	政策経営課	
(新規) 市内における貸し借りが可能な空き家の情報提供	政策経営課			

具体施策(3) 緑のまちづくり事業		重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
		記念樹等交付事業交付本数	—	1,894本
<p>記念樹配布や生垣設置・ブロック塀撤去に対する助成を行い、住宅地の緑化推進を図り、住みたい・暮らしたい・行ってみたいと感じてもらえるまちづくりを目指します。</p>				
具体的な事業	担当	具体的な事業	担当	
記念樹等交付事業	建築住宅課	生垣設置等補助金交付事業	建築住宅課	

施策3 若者・女性が活躍する社会の実現

具体施策(1) 希望する相手と出会う機会の創出	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
	婚活イベント参加者数	延べ50人/年	延べ120人/年
若い世代の結婚意欲は低下していないが未婚者の割合が増加しています。原因はさまざまですが、ひとつには「男女とも適当な相手にめぐり合わない」という現実があるため、民間の事業所等を活用した男女の出会いの場となるイベントを実施するなど、若い世代の結婚に繋がる施策に取り組みます。			
具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
市が委託した業者による婚活イベントの実施	長寿社会課		

具体施策(2) 働く女性のワークライフバランスの実現 ～男女共同参画システムの充実～	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
	推進・啓発事業の開催回数	2回	4回
事業者や市民とともに女性が働きやすい環境の整備を図ります。各種研修会や講演会などを通して、男女共同参画の意識を高め、男女共同参画社会の実現をめざします。			
具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
男女共同参画を推進・啓発するための、フォーラム・講座等を開催	人権男女共同参画課	男女共同参画推進団体が行う各地域での取り組み支援	人権男女共同参画課
企業への男女共同参画やワーク・ライフ・バランスの実現の啓発	人権男女共同参画課		

施策3 若者・女性が活躍する社会の実現

具体施策(3) 放課後の子どもの居場所の提供	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
	放課後児童クラブ登録者数	771人	850人
<p>放課後の子どもの居場所を提供することで、働く女性の活躍を支援します。また、学校や地域社会の中で、放課後や休日の子どもの安全・安心で健やかな遊び場や居場所の確保に努めるとともに、異年齢間での遊びや活動、地域住民との交流を図ることで、心豊かなたくましい子どもを育てる環境を整備します。</p>			
具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	児童館運営事業	生涯学習課
放課後児童クラブ事業	生涯学習課		

具体施策(4) 若者及び女性の起業支援	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
	若者・女性の起業者数(累計)	—	5人
<p>市内で起業しようとする若者・女性を支援します。</p>			
具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
若者及び女性の起業支援事業	商工労政課		

施策4 特色ある学校教育の推進

具体施策(1) 次代を担う人づくりの推進	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
		海外ホームステイ者数	12人
<p>幼児、児童、生徒一人ひとりの理解を深め、知育、徳育、体育、食育を重視し、情報化、国際化に対応した教育を進める中で、個性を生かしつつ自主自律と人権尊重の精神を養い、社会的規範意識を確立させて「生きる力」を培い、豊かな人間性の育成に努めます。</p>			
具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
海外ホームステイ事業	学校教育課		

具体施策(2) 特色ある学校教育の推進	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
		放課後学習室参加生徒数	144人
<p>地域の方やゆかりの深い人材を学習活動に生かした学社連携・融合を図り、子どもたちがより安曇野の自然・歴史・文化を学ぶことができる環境づくりや教材の発掘を進め、郷土を愛する心を培うよう努めます。</p>			
具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
放課後学習室	学校教育課	立志塾	学校教育課
英語課外授業	学校教育課	(新規) 博物館の出前展示事業	文化課

施策5 信州型自然保育の推進

具体施策(1) 信州型自然保育の推進	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
		信州型自然保育を受ける児童数	—
<p>長野県が創設した「信州型自然保育認定制度(普及型)」に公立保育園全18園を登録し、自然保育を推進します。次代を担う子どもたちが、四季折々の豊かな自然環境にふれあい、また、さまざまな体験活動により、子どもたちの感覚が豊かに刺激され、主体性・創造力・社会性・協調性等が生まれ、心身ともに健康的に成長することを目指します。また、県外への積極的な本事業のPR活動により、本市の優れた子育て環境をアピールすることで、全国の子育て世代に移住の選択肢の一つとして捉えてもらえます。豊かな自然の中での、のびのびした子育て「信州型自然保育」を本市から発信していきます。</p>			
具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
(新規) 信州型自然保育の推進	子ども支援課		

数値目標	基準値	目標値
年間出生数	671人	660人
子育てしやすいと思う市民の割合	49.5%	55.0%

基本的方向

- ・安心して出産し、育児ができる環境を整えるため、妊娠中から出産後までのサポート体制を充実させ、父母の不安の軽減や子どもの健やかな成長発達の支援を進めます。
- ・就労環境を保障する福祉サービスの提供を通して、子育て支援の充実を図ります。
- ・子育てに喜びや生きがいを感じ、楽しみながら子育てができる支援体制を充実させ、子どもや子育てを地域全体で見守り、支援する環境づくりを進めます。
- ・1子ではなく2子育てる家庭の増加を目指すため、第2子への支援を検討します。

施策1 妊娠・出産・育児の切れ目のない支援

具体施策(1) 子どもを産み育てる支援体制の充実	重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	目標値(H31)
		乳幼児健診平均受診率		96.8%
<p>健やかな子どもの成長発達を支援するとともに保護者の不安を軽減させるために、専門職による健診や訪問・相談・保健指導等の支援体制を充実させます。</p>				
具体的な事業	担当	具体的な事業	担当	
妊産婦・新生児訪問指導事業 (乳児全戸訪問事業を含む)	健康推進課	母子保健事業(乳幼児健診・教室、保健指導、 訪問・相談事業)	健康推進課	
ブックスタート事業	図書館交流課	妊婦・乳児一般健康診査事業	健康推進課	

施策2 子育て世帯の負担軽減

具体施策(1) 妊娠・出産・育児に対する 経済的支援の推進	重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	目標値(H31)
		対象者に対する経済的支援率		100%
<p>安心して、出産・育児ができるように「安曇野市健康づくり計画」及び「安曇野市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、事業を実施します。また、子育て世帯の医療費負担を軽減するため福祉医療費を給付します。</p>				
具体的な事業	担当	具体的な事業	担当	
不妊・不育症治療費助成事業	健康推進課	未熟児養育医療事業	健康推進課	
福祉医療費給付事業	長寿社会課			

施策2 子育て世帯の負担軽減

具体施策(2) 保育施策の充実	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
		延長保育受入数	9,154人

多様化する保育ニーズに対応するため、未満児保育、延長保育、障がい児保育、一時預かり保育、病時・病後時保育、広域保育など、子育てを支援する施策の充実を図ります。また、より良い環境で園児を育てるため、保育園の改修など施設の整備に努めます。

具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
障がい児保育事業	子ども支援課	病児・病後児保育事業	子ども支援課
子育て応援手当給付事業	子ども支援課	ファミリー・サポート・センター事業	子ども支援課
多子世帯保育料等負担軽減事業	子ども支援課	一時預かり及び幼稚園の預かり保育	子ども支援課
延長保育事業	子ども支援課	母子家庭等対策総合支援事業	子ども支援課

具体施策(3) 障がい児等福祉サービスの充実	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
		児童発達支援・放課後等デイサービス 利用児童数	54人

児童発達支援、放課後等デイサービスを充実させ、必要なサービス量と質の確保を図ります。

具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
障害児通園施設利用児療育支援事業	福祉課	障害児通所支援事業	福祉課
通所・通園等推進事業	福祉課		

施策3 児童・生徒へのきめ細かな支援

具体施策(1) 青少年育成環境の整備	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
<p>いじめや不登校などへの対策を継続させるため、心のケアと保護者の支援を中心とした教育相談体制の充実や療育や特別支援教育関係への支援事業を進めます。また、集団での活動や世代間交流を進める中で、子どもが自然に触れる機会や体験を通じて環境保全の重要性を学ぶ機会、科学に対する興味を育む機会、郷土の伝承文化を継承する場を設けるなど、地域の人々と触れ合う中で、さまざまなことを学ぶ機会づくりに努めます。</p>	青少年体験型講座及びリーダー研修受講者数(人/年)	1,400人	2,000人
具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
いじめ等対策委員会	学校教育課	不登校支援コーディネーター配置事業	学校教育課
中間教室運営事業	学校教育課	青少年健全育成事業	生涯学習課

施策4 安心して子育てできる環境づくり

具体施策(1) 救急医療体制の充実	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
		夜間急病センター受診者数	1,464人
<p>夜間の急病時に診療できる夜間初期医療救急センターを設置すること、休祭日における初期救急医療体制の確保のための在宅当番医制事業を継続することにより、市民が安心して生活できる環境を提供します。また、松本圏域の二次救急医療体制の充実のために、病院群輪番制病院運営事業への参加を継続します。</p>			
具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
夜間急病センター運営事業	健康推進課		

具体施策(2) 相談事業の充実	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
		新規相談に占める未就学児の割合	65.3%
<p>子ども発達支援相談室を中心に早期に相談出来る体制整備を行い、早期療育及び適切な支援を行います。また、ひとり親家庭などの経済的、精神的不安解消のため、相談事業を中心とした各種支援体制の充実を図ります。</p>			
具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
家庭児童相談員配置事業	子ども支援課	女性相談・母子自立支援員設置事業	子ども支援課
子ども発達支援相談事業	福祉課		

施策4 安心して子育てできる環境づくり

具体施策(3) 公園の整備	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
	公園利用者数の指標として 都市公園行為許可件数	186件	204件
<p>公園には、子供が遊びを通して心身を育むための遊戯施設や子育て中の親が憩うことのできる東屋、ベンチといった休養施設・植栽、園路等の修景施設・トイレ等の便益施設があります。幼児用の遊具設置や園路やトイレのバリアフリー化、トイレの水洗化等により利用者の安全安心と快適性の向上を図ります。</p>			
具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
公園の整備	都市計画課 子ども支援課	公園施設長寿命化対策支援事業	都市計画課

具体施策(4) 親子で交流できる場の提供	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
	交流場所利用者数 (人/年)	437,677人	450,000人
<p>日頃、子育てにいろいろな悩みを抱えているお母さんたちの交流・情報交換の場として、図書館や交流学習センターの施設活用を図ります。</p>			
具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
親子で交流できる場の提供	図書館交流課		

数値目標	基準値	目標値
健康寿命（男性）	78.95歳	79.46歳
健康寿命（女性）	83.82歳	84.04歳
住み続けたいと思う市民の割合	66.2%	70.0%

基本的方向

- ・本市の平均寿命は、全国トップレベルの水準です。この水準を維持・向上させ、健康長寿のまちづくりを推進するため、個別指導や予防事業の重点的な実施を目指します。
- ・人口減少、高齢化社会で安心、安全に暮らせるために防災対策や必要なインフラ整備を行います。
- ・医療、商業施設がまとまって立地する利便性の高いまちづくりを目指すとともに、駅前や中心市街地の活性化を図ります。
- ・本市を象徴する「清らかな水」を将来世代に受け継ぐため、地下水の保全と利用について調査を進めます。
- ・人口減少が進む中、効率的な行政運営が求められています。持続可能なまちづくりのため、既存の社会基盤の再構築や、コンパクトでスマートなまちづくりを目指します。

施策 1 健康長寿のまちづくり

具体施策(1) 介護予防の充実		重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
		介護予防のための 自主活動グループ数	148グループ	200グループ
高齢者が要介護状態となることを予防し、一人ひとりの生きがいや自己実現のための取り組みを、市・地域包括支援センター・市民・事業者等が意識の共有を図りながら実践できるよう取り組みます。				
具体的な事業	担当	具体的な事業	担当	
介護予防事業	介護保険課	高齢者が元気に集える環境の支援	長寿社会課	

具体施策(2) 各種検診などの充実		重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
		がん検診（胃・大腸・子宮・ 乳房）受診率	19.2%	26.0%
生活習慣病の発症予防や重症化予防、また、がんによる死亡を防ぐために検診を実施し、受診率向上を図ります。				
具体的な事業	担当	具体的な事業	担当	
がん検診（胃・大腸・子宮・乳房・肺）	健康推進課	その他検診（特定健康診査、 肝炎ウイルス、歯科、骨、結核）	健康推進課	

施策 1 健康長寿のまちづくり

具体施策(3) 予防活動の充実	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H25)	目標値(H31)
		特定保健指導実施率	47.4%

市の健康課題に基づき個別の相談・保健指導の充実を図ります。特に、糖尿病等の生活習慣病の重症化予防のための個別指導などを重点に実施します。また、若年者の健診機会を設け、生活習慣病の一次予防に努めるとともに、高齢者健診の充実を図ります。さらに、感染症予防のための予防接種を実施します。

具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
個別保健指導の推進	健康推進課	心の健康づくりの推進	健康推進課
身体活動量及び運動習慣の推進	健康推進課	地区組織活動の推進	健康推進課
歯科保健の推進	健康推進課	後期高齢者健診の推進	国保年金課

具体施策(4) 食育の推進	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
		幼児期(3歳)において大人と一緒に朝食を食べる子供の割合	94.1%

子どもの頃から基本的な食習慣を身につけ営むことで、大人も子どもも心や体が健康で豊かな生活ができるように取り組みます。

具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
食育計画の推進	健康推進課		

施策 2 安心して生活できるまちの実現

具体施策(1) 交通安全・防犯体制の強化	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
	市内の交通事故発生件数(暦年)	389件	254件

総合的な交通安全対策に取り組む活動の充実を図り、子どもから高齢者まで参加・体験・実践型の交通安全教室を展開するとともに、地域ぐるみの活動を推進し、交通安全思想の普及浸透に努めます。また、市民が安心して暮らすことができる安全な地域社会の実現を目指すため、防犯灯のLED化を進めるとともに、関係機関との連携のもと、地域住民と協働する防犯運動や広報活動を通じて、防犯意識の高揚を図ります。

具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
園児の交通安全教室(一般道の歩行指導)	地域づくり課	高齢者交通安全教室(参加体験型)	地域づくり課
小中学校交通安全教室 (スケアード・ストレイト方式)	地域づくり課	防犯灯LED新設・更新事業	地域づくり課

具体施策(2) 防災・減災の推進	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
	土砂災害危険箇所存在区における避難体制づくりの取り組み率	3%	50%

近年の異常気象により、土砂災害による被害の大規模化がみられるため、ハード対策と並行し、ソフト対策の必要性が増しています。そこで、土砂災害危険箇所のある区を対象に、地域住民参加による避難マップ作成や避難訓練を行い、危険箇所の再確認や自助と共助の精神の育成を図ることで防災意識の向上と減災に努めます。また、災害対策にICTを活用することにより、地震、土砂災害、地すべり、風水害などの災害の際に、危険箇所の監視や情報収集を強化します。

具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
避難マップ作成 ・ 避難訓練の実施	危機管理課・ 監理課	ICTを活用した防災・減災の推進	危機管理課

施策 2 安心して生活できるまちの実現

具体施策(3) 支え合う地域社会づくり	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
	区への加入率	77.0%	82.0%

市民がお互いに支え合い、心豊かに生活できるコミュニティづくりを目指すことで、安曇野にずっと暮らしたい、生きがいを持って安曇野で活動したいと感じることなどで、永住者を増加させるとともに、全国から魅力ある自治体として評価を得るため、地域コミュニティ（区）への加入促進と、コミュニティ・マニュアルの策定を行います。

具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
区への加入促進	地域づくり課	コミュニティ・マニュアルの作成	地域づくり課

施策 3 利便性の高いまちの実現

具体施策(1) 計画的なまちづくりの推進	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
	立地適正化計画の策定	未策定	策定

医療・子育て施設、商業施設や住居等がまとまって立地し、住民が公共交通によりこれらの生活利便施設等にアクセスできるなど、まち全体の構造を再度見直し、利便性の高いまちの実現を目指します。

具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
安曇野市立地適正化計画の策定	都市計画課	拠点地域等住宅開発助成（開発道路造成費補助）	建築住宅課
都市計画道路吉野線の整備	都市計画課	拠点地域等住宅購入費助成	建築住宅課

施策 3 利便性の高いまちの実現

具体施策(2) 幹線道路の整備/生活道路の整備 /除雪対策	重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	目標値(H31)
		幹線道路整備計画中の 要歩道整備 延長		103,662m
<ul style="list-style-type: none"> ・国道や県道をはじめ幹線道路の機能的な道路整備を進め、効果的・効率的な整備を進めます。また、市内外や交通拠点を結ぶ国道、主要地方道、県道の改良・整備を要望します。 ・路線毎の実情に合った整備手法の検討により、効率的な道路整備を実施して、道路改良及び舗装率の向上を目指します。また、整備路線の選定については、公共性の高い路線を優先的に選定して整備を進めます。 ・積雪時の交通や歩行者の安全を確保するために、除雪活動を地域住民と協力して行うとともに、効率的な除雪作業を進めます。 				
具体的な事業	担当	具体的な事業	担当	
幹線道路・生活道路の整備	建設課	交通安全施設整備	建設課	
道路橋梁維持	建設課	除雪対策	建設課	
道路・橋梁の老朽化対策	建設課			

具体施策(3) 商業空間の形成 ～空き店舗を活用したまちの活性化～	重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H26)	目標値(H31)
		空き店舗活用件数		32件
<p>空き店舗の活用を促進し、商店街の空洞化を防ぐよう助成制度を拡充します。また、商業地の景観形成や地域の歴史・文化・史跡などの地域資源を有機的に結びつけ、商業施設との回遊性を高める基盤整備を計画します。</p>				
具体的な事業	担当	具体的な事業	担当	
空き店舗等活用促進事業	商工労政課	明科駅前商店街実態調査	商工労政課	

施策 3 利便性の高いまちの実現

具体施策(4) 再生利用（リサイクル）の推進

重要業績評価指標（KPI）	基準値（H26）	目標値（H31）
燃えるごみ排出量（グラム/人・日）	373グラム	340グラム

市内公共施設に古紙回収BOX（コンテナ）を設置し、試合会場への道沿いで、松本山雅サポーターを中心とした応援者に持参していただき回収することで、後援会が行なう地域貢献活動の原資とします。運営主体は松本山雅後援会、収集業務及びコンテナ管理業務は松本山雅のスポンサーサプライヤーが行ないます。市は場所を提供することで市民の皆さまの利便性の向上を図り、循環型社会の形成推進と資源循環による可燃ごみの減量化を図ってまいります。

また、民間活力を利用することによって市民協働が推進され、松本山雅応援者による地域間交流と地域経済の活性化、観光振興、産業振興、安曇野ブランドの発信、スポーツ振興、青少年健全育成など大きな波及効果が期待されます。

具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
各種資源物の受入れ	廃棄物対策課	粗大ごみ回収（月1回・有料）	廃棄物対策課
使用済み小型家電類全品目の受入れ	廃棄物対策課	（新規）民間活力を利用した古紙回収事業の確立 ～市民協働の推進による松本山雅後援会支援事業～	廃棄物対策課

具体施策(5) 明科駅前まちづくり整備事業

重要業績評価指標（KPI）	基準値（H26）	目標値（H31）
明科駅前整備	—	着手

明科駅前としてふさわしい、歩道、駅前広場及びまちなみを整備するとともに、商店街の再生、観光促進等を図ります。

具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
明科駅前まちづくり整備事業の推進	都市計画課		

施策 3 利便性の高いまちの実現

具体施策(6) 公共交通の整備	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
		1日平均利用者数	371人
交通弱者の足として定着している「あづみん」を継続して運行するとともに利便性の向上に向けた研究を行い、利用者の拡大を図ります。			
具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
デマンド交通システムの運用	政策経営課	(新規) 運行体系等の見直しの研究	政策経営課

具体施策(7) スポーツによる地域活性化	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
		県・国レベルのスポーツ大会の開催件数	21件
市域以上の範囲の競技者が集まる規模のスポーツ大会を開催することにより、市民のスポーツへの関心を深めるとともに競技力向上を図ります。			
具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
(新規) 県・国レベル等のスポーツ大会の開催	生涯学習課		

施策 4 サービスレベルを維持する行政経営の実現

具体施策(1) 公共施設の効果的利用	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
	公共施設利用率	—	H27実績比 10.0%増

指定管理者制度を活用し、民間が持つノウハウを生かした質の高いサービスの提供に努めます。
また、社会経済状況の変化に柔軟に対応した公共施設のあり方を検討し、より効果的、効率的な施設運営に努めます。
市営住宅については、社会経済、情勢等の変化に対応できるよう、効果的、効率的なあり方を検討します。

具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
公共施設等総合管理計画及び公共施設再配置計画策定	行政管理課	市営住宅既存ストックの活用と長寿命化	建築住宅課

具体施策(2) 持続可能な財政運営基盤の確立	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	目標値(H31)
	市税現年収納率	98.9%	98.9%
	実質公債費比率	11.7%	10.5%

安定・確実な財源の確保・健全な財政運営により、総合戦略施策の確実な実施を図るとともに、総合戦略による効果を将来に向けた財政基盤の安定に繋げていきます。
また、統一的な手法による財務諸表を市民の皆さまに公表し、財務情報の共有を図ります。

具体的な事業	担当	具体的な事業	担当
公会計化、財務諸表など全国統一手法による財務状況の公表	財政課	債権管理、滞納整理による収納率の向上	収納課
課税対象の公平な把握及び適正な課税の実施	市民税 資産税課	普通財産の処分、維持管理費の低減	財産管理課
安曇野ふるさと寄附	総務課		